

多用途タイプの
中性粉末除錆剤



装置内部材のサビを、中性溶液で除去する

●フェニックス/アド・ツーのテーマ●

高倍率希釈液による、
多用途の除錆を可能とする

●フェニックス/アド・ツーのコンセプト●



株式会社フェニックス

〒448-0025 愛知県刈谷市幸町2-4-10
TEL 0566-24-0134 FAX 0566-24-7098

■ ADアド・IIの使用方法 1. 【高倍率で希釈して、送液ライン全体の除錆を実施する】

●2剤の粉末剤を溶解して、100倍希釈溶液を送液して、除錆が行えます。

<作製例> ※ 濃縮液の作製時には、注意事項をお読みいただき、正しくご使用ください。※ 送液後は、ETRFの交換をお勧めします。

ADアド・II/A剤(500g)	ADアド・II/B剤(500g)	RO 水	濃縮液量	供給装置の送液倍率
2袋	2袋	5ℓ	約6.2ℓ	40倍設定

◆送液後は、60分を目安に、封入してください。※長時間(120分以上)の封入は避けてください。

◆封入後は、60分以上の水洗を実施していただき、導電率計などで残留の無いことを、確認を行ってください。

◆水洗後は、通常の薬洗(塩素・過酢酸)を実施する事で、さらにADアド・II溶液は、消失除去されます。

<試験結果>

SUS316を、強制的に表面酸化腐食させた試験片を用いて、ADアド・IIの100倍溶液に、30分間 試験片の2/3(黄色点線)程度浸漬して表面変化を観察した。



■ ADアド・IIの使用方法 2. 【キレイターコンクへ添加して使用する】

●炭酸カルシウムの除去と除錆が同時に行えます。

<条 件> 40床・送液時間30分で、キレイターコンクを100倍希釈溶液として、ご使用されている施設様でのADアド・IIの混合方法
◆40床×30分×500ml/分÷100倍希釈=6ℓ/回のキレイターコンク(原液)をご使用いただいています。

<作製例> ※ 作製時には、注意事項をお読みいただき、正しくご使用ください。

1. 使用されているキレイターコンクの、タンク内の原液を可能な限り少なくしてください。※残液量を3ℓと仮定します。

2. 供給装置の送液倍率を「40倍」に変更していただき、下記表を参考にしてADアド・II溶液を作製してください。

◆40倍希釈設定に変更するため「15ℓ/回の2剤混合溶液」が必要になります。※タンク内のキレイターコンクの残液量は除きます。

◆「9ℓのADアド・II 溶液」を作製して、キレイターコンクを6ℓ混合させて、総量15ℓにします。ただし、ADアド・IIの2つの粉末剤を使い切っていただくため増量して作製します。※送液時間を延長して、タンク内の残液を調整してください。

ADアド・II A剤(500g)	ADアド・II B剤(500g)	溶解する RO水量	ADアド・II 溶解液量	キレイターコンク の追加混合量	タンク内のキレイター コンク 残液量	タンク内 溶液の総量
2袋	2袋	10ℓ	約12ℓ	6ℓ	3ℓ(仮定)	約21ℓ

◆上記により、約21ℓの混合溶液が作製できます。タンク内残液を同様に3ℓ残す場合、送液時間を「36分」に変更していただく「3ℓ」になります。※40床×36分×500ml/分÷40倍希釈=18ℓ/回のタンク内溶液の消費

◆上記溶液における「キレイターコンクの末端濃度は【約93倍】」・「ADアド・IIの末端濃度は【約350倍】」になります。

◆送液後は、60～90分を目安に封入してください。※長時間(120分以上)の封入は避けてください。

◆封入後は、60分以上の水洗を実施して、薬液消毒へ移行するプログラムを実施してください。

3. タンク内の混合残液に、次のキレイターコンク(単独使用として原液)を補充します。



臨床使用で発生した部材



混合溶液に90分封入後

◆ 組 成・製品情報 ◆

【組成】 A剤 ●硫黄化合物 / B剤 ●有機酸塩

【容量・包装】 A剤 500g×4袋(缶入り)

B剤 500g×4袋(ポリ袋入り)

【JANコード】 4582553920159

【使用上の注意】

【安全対策】 ●使用時はゴム手袋と保護メガネ・マスク等の保護具を着用し、眼や皮膚に触れないようにしてください。●溶液の作製において、有毒なガス(亜硫酸ガス)が発生します。必ず防護を着用して、換気の良い環境(室外など)で、溶解作製してください。●A剤(粉末)とB剤(粉末)は、直接接ふさせないでください。また、A剤は、少量の水で分解・発熱(発火)します。溶液の作製手順は、B剤をRO水で溶解した後に、その溶液にA剤を混合してください。●開封した粉末剤は、使い切ってください。特に開封前のA剤は、元の缶に戻して保管してください。●ステンレス以外の金属(鉄・真鍮など)には不向きです。また、樹脂・ゴムなどには変化をきたすことがありますので予め確認してください。●原粉末および原液がこぼれた箇所は、変色・腐食などの恐れがありますので直ちに拭き取ってください。●本剤は目的以外の用途に使用しないでください。

【応急処置】 ●眼に入った場合は、こすらずに直ちに流水下で水洗し、コンタクトレンズが容易に外せる場合は外して水洗して医師の処置を受ける。●皮膚に付着した場合は、直ちに多量の水で洗い流す。異常を感じるならば医師の処置を受ける。●飲み込んだ場合は、無理に吐かせないで、口の中を水で洗い、直ちに医師の処置を受ける。本剤は飲食できません。●吸入した際、空気の新鮮な場所に移し安静にして、異常を感じたら医師の処置を受ける。

【保管上の注意】 ●直射日光を避け、子供の手の届かない涼しいところ(0℃以下は避ける)に保管してください。場合によっては換気をしてください。●A剤は、元の缶に入れて密封して保管してください。●できるだけ早くご使用ください。

【廃棄への注意】 ●使用期限を過ぎた製品は地区条例に基づき、適切に廃棄してください。●溶解した溶液は、中性ですが、排出の際は大量の水で希釈して排出してください。

【混合禁忌】 ●強酸化剤・熱湯・亜硫酸ナトリウム・塩化ナトリウムとの混合は厳禁です。

※ご使用前にはSDSを ご用命いただき、正しくご使用ください。